

炉端の会「2期」は、平成10年4月「炉端の会」第2グループとして発足しました。第2グループは責任者をリーダーと呼び、第1グループは会長であり、その後の第3グループも会長と称されました。その後の各期も会長でした。

囲炉裏の火焚きの実施日は活動の基準として、火曜日班～金曜日班の各曜日班をA・Bに分けて火曜A班・火曜B班と8班編成とし、各曜日2棟焚きを実施しました。その他各月の(土)(日)の内、1日を活動日として、1ヵ月合計5～6日が火焚き日で、例会日としてプラス1日が民家園に来る日でありました。その他の囲炉裏の火焚き活動日として、ゴールデンウィークと民家園祭り等、民家園行事に協力し増棟した古民家の火焚きをして活動日を増加しました。団体案内は1年経過後に実施を開始しました。

当時、木下職員(現園長)より「民具整理」の手伝いの依頼が有り、1ヵ月5日程度の日程で夏場を中心に2年ほど作業の手伝いを行いました。作業日は例会日に告知され希望者を登録して実施しました。作業内容は各古民家収納民具、品目毎の台帳の照合、梱包整理の実施でした。この「民具整理」の作業の実施で、グループ内の各当日班の理解、交流が深化し以後のグループが円滑化されたと考えます。

例会は各1～3グループ別に曜日を変えて行われました。内容は定例連絡と打ち合わせと学習と称して勉強会が行われました。三輪修三氏が園長であり、直接勉強会を指導されました。三輪園長は「仏教美術」に造詣が深くその道の専門家で、我々も「仏教美術」に興味を持ち、寺院建築様式と仏像の鑑賞等々と合わせて古民家の建築について学習を行いました。

また平成11～12年1月例会で園長持参の「木製」の昔のカルタでカルタ大会が行われ、楽しみました。

例会での学習を通じて第1、第2グループ合同での園外研修会の実施が行われました。研修先として大阪服部緑地の日本民家集落博物館、京都の東寺等々を選定しました。三沢家へも研修先として訪問して、ご当主にお会いして当時の三沢家の様子を語っていただきました。



カルタ大会



三沢家訪問、伊那部宿集合写真

その後の園外研修会は幾多も行われました。関西圏では京都・奈良を重点的に東寺の佛像曼荼羅、新護寺、清水寺、広隆寺、壬生寺等々、西本願寺では御影堂の改修現場の足場の最上階で屋根の傾斜を間近で観察でき、非常に感動しました。その後、奈良の唐招提寺でも平成の大改修が行われており工事現場の研修会が行われ、東大寺南大門、大仏殿、二月堂・三月堂等々研修会が、関東圏でも鎌倉の円覚寺、建長寺、極楽寺、足利のばんな寺、山梨の大善寺、東京国立博物館での「仏教美術」関連の園外研修が行われました。

その延長線上に中国敦煌・西安園外研修会が行われました。

・平成13年5月 中国敦 煌・西安園外研修

西安・大雁塔、陝西歴史博物館、兵馬俑、青龍寺等々。

蘭州・・・・黄河、嘉峪関。

敦煌・・・・莫高窟で5回の見学研修会、玉門関をへて万里長城最西の果てを見学。

・2期 周年行事

平成20年2月 2期 10周年記念園外研修会

奈良、井岡家・・・・井岡家跡地検地、東大寺南大門、大釣鐘、元興寺、大安寺、醍醐寺等々で園外研修。

平成24年4月 2期 15周年記念園外研修会

京都、美山・・・・美山茅葺民家に体験宿泊、伊根舟屋、天橋立周辺等々で園外研修。

(平成26年12月)



大雁塔前集合写真